

高校野球観戦記（2022）

昨年の7月中旬、夏の大会が終わり、グラウンドには3人になった高校2年生の部員がいた。新キャプテンは川口翔平君。しかし、部員不足のためキャッチボール以外の練習を満足に行える状況ではなかった。8月にはコロナ禍によって、夏休みの練習は中止。秋の県大会も延期された。

秋の県大会は、合同チームを組んでの出場。ぶっつけ本番で公式戦に臨んだが、大敗を喫した。10月過ぎに、選抜の大会を終えた弟の川口颯大君と中3の菅澤君が合流。5人になったが、夏の大会で単独チームとして勝利を目指すにはほど遠い状況だった。

年が明け、4月。鹿島中から達崎君が加わる。昨年、県大会に出場を決めた鹿島中だが、前日にコロナ感染拡大のため、大会が中止。その想いを高校野球にぶつけることになった。

そして、6月。映画『フィールド オブ ドリームス』さながら、野球経験のある高校3年生が助っ人としてグラウンドに現れた。武衛君、安藤君、横山君。こうして大会1ヵ月前、清真学園単独チームが結成された。

結成後、すぐの県東地区大会。相手は鉾田一高。1年生エース川口君のボールは130km/hに達していたが、浮いた高めを痛打された。中学では快速球でも、高校野球のエースの球速としては、見慣れているスピードだ。守備は悪送球や捕球ミスなど基本的なエラーが目立った。打線もつながらない。新たに加わった助っ人はバッティングの感覚を忘れていた。

1ヶ月後の夏の大会。相手は下館工業。下館工業は昨年秋の地区大会を勝ち抜き、県大会に出場し、県ベスト16になっている。部員数も40名を超え、チームの経験の差は歴然としていた。

試合前に私は、1年生エースの川口君に話しをした。『勝ちたいんだったら、絶対にスピードガンを見るな。』ひたちなか市民球場にはスピードガンが常設してある。数字を気にすれば、力みコントロールが乱れ、球が高めに浮く。川口君はうなずき、勝負に徹した。

初回、ランナーを出したが、1年生ショートの達崎君がダブルプレーを決め、0に押さえた。序盤3回は0-0。しかし、4回、5回と守備の乱れと球が浮いた所を痛打され、1点ずつとられた。

5回、6番の横山君がセンターにいい当たりを打つ。続く7番菅澤君がヒット。打線に当たりが出てきた。そして6回、清真の反撃が始まった。2番の武衛君がセンター前ヒット。川口颯大君がフォアボールを選び、2アウトながら1、3塁のチャンスを作った。ここで5番安藤君がタイムリーヒットを放ち、1点を返す。さらに、1、3塁から、1塁ランナーが盗塁をする間に、3塁の川口君がホームに飛び込み同点となった。

その裏、ピンチが訪れる。下館工業は、得点圏にランナーがいる状態でセンターに大飛球を放った。センターの武衛君の後方まで飛んだ打球を、ライトの安藤君が飛び込み見事なダイビングキャッチをした。このプレイは、清真ベンチに『勝てる』という勇気を与えた。

終盤は両エースの互角の投げ合い。川口君はボールを低めに集め、打たせてとるピッチングに徹した。中学時代はアウトのほとんどが三振だったが、守備を信頼し成長したピッチングを見せた。そして、そのピッチングを支えたのが兄の川口翔平君だった。驚くことにこの試合のパスボールやワイルドピッチは0。ランナーがいても、低めに鋭い変化をするスライダーを投げさせた。ボールがショートバウンドするとキャッチャーは体で止めに行くのがセオリーだが、川口捕手はグローブで捕りにいった。ランナーが走った時に、すぐボールを投げるができるからだ。その捕り方で、ボールを後ろにやらないのは、野球センスなのか、それとも弟の球筋だからなのだろうか。いずれにしても1ヶ月の急造捕手とは思えないインサイドワークで弟のピッチングを支えた。

10回表。2アウト1、2塁。武衛君の打球はセンターへの大飛球になった。惜しくも捕られたが、下館工業を追い詰める。しかしその裏、川口君の136球の熱投も及ばず、結成1ヶ月のチームは力尽きた。

試合後、泣く川口弟の横には、涙を見せない兄の姿があった。部員不足、コロナ禍の中、弟の高校野球デビューをサポートすることが出来た兄の安堵感もあったのだろう。同様に、3年生として野球部を支えた武内君、森光君からもやりきった表情も見ることができた。

助っ人の3人の高校3年生は、守備に攻撃にチームの要として活躍した。彼らはまぎれもない高校球児だった。

6人の選手と、マネージャーの宮西さんが引退した。高校2年生がいないチームは1年生5人とマネージャー1人のチームになる。名実ともにチームの大黒柱になる川口君には2つの目標が出来た。一つは部員を集めること。もう一つは、ピンチの時には140km/hの剛球で勝負できるようになること。漫画『Major』のリアル版のようだが、来年の夏にはそんな試合を楽しみにしている。

(野球部顧問 押見弘一)